

SDGs宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2023 年 2 月 8 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
静岡大学は、「自由啓発・未来創成」の理念のもと、静岡県に立地する総合大学として、地域の豊かな自然と文化に対する敬愛の念をもち、質の高い教育、創造的な研究による人材の育成を通して、人類の未来と地域社会の発展に貢献していく。			
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動			
<p>1. SDGsの達成に向けたプロジェクトの推進 持続可能な地域社会の構築を、多様なステークホルダーと共にパートナーシップの理念に基づき推進する組織として、2020年度に「未来社会デザイン機構」を設置し、機構を構成する3つのセンター（サステナビリティセンター、地域創造教育センター、防災総合センター）を中心に各種のプロジェクトを推進している。</p> <p>2. 持続可能な社会の担い手の教育 学部横断型教育プログラム「地域創造学環」内に「地域サステナビリティコース」を2020年度に設置し、持続可能な社会の実現に貢献できる地域人材を育成している。</p> <p>3. ジェンダー平等の推進 性別、エスニシティ、障害の有無、世代、ライフスタイル、価値観など、異なる背景をもつ多様な学生や教職員が共に学び、共に働きやすいキャンパスの構築を目指し、多様な背景や価値観をもとに教育・研究・社会貢献機能の新たな展開を進め、社会のダイバーシティの推進に貢献する。</p>			
目標に関連する取組内容			
ゴール	2022年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2023年12月31日までの取組目標
	社会人を含む様々な年齢層を対象としたSDGs教育プログラムを開発するとともに、各種フォーラムや教員研修会を開催する。	社会人を含む様々な年齢層を対象としたSDGsに関連した教育プログラムを開発するとともに、フォーラムや教員研修会を開催した。	引き続き、社会人を含む様々な年齢層を対象に、総合大学の強みを生かし、SDGsに関連した多様な教育活動を展開する。
	「ジェンダーを無視しない科学・技術開発＝ジェンダーダイノベーション」を促進するため、学内予算を措置する。	「ジェンダーダイノベーション」を促進するため、予算上の措置を講じ、3件の新規研究、2件の継続研究を採択した。	「ジェンダーを無視しない科学・技術開発＝ジェンダーダイノベーション」を促進するため、引き続き学内予算を措置する（予定）。
	ふじのくに防災フェロー養成講座により、災害科学的基礎を持った防災実務者の養成を行う。	今年度の防災フェローの取得予定者は5名である。	・引き続き、ふじのくに防災フェロー養成講座により、災害科学的基礎を持った防災実務者の養成を行う。 ・2022年9月の台風15号による被害発生時より行っている静岡市における調査・研究を引き続き実施する。
	手入れ不要で災害に強い森林を作るための研究を行う。	植林地を自然林へ戻すための基礎データを収集した。生物多様性の理解と保全を推進するための啓発活動を行った。	引き続き、手入れ不要で災害に強く、生物多様性の高い豊かな森林を作るための研究を行う。また、生物多様性の理解と保全を推進するための啓発活動を行う。

（記載上の注意）

- 取組目標は**3つ以上のゴールについて目標を設定し、記載**してください。
- 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
- ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

1	事業所・団体等又は関連事業者等の名称	国立大学法人静岡大学	
		本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数	
2	業種	11. 教育、学習支援業	
3	従業員（構成員）数	1,119 人	
4	代表者 職・氏名	職名	学長
		氏名	日詰 一幸
5	所在地	〒 422-8529	
		静岡市駿河区大谷836	
6	ホームページURL	https://www.shizuoka.ac.jp/	